

## 伊方原発運転差止広島裁判3月11日提訴に寄せて

### - メッセージ -

福島原発事故から五年がたちました。今だに避難生活を続けておられる方がたくさんいらっしゃいます。自分の故郷を失うこと、帰って行くべき故郷を失った方々の苦しみを思えば、辛い悲しみに襲われます。

そして、この時にいつも思うのです。伊方が福島だったかもしれないのです。故郷を失ったのは私の子どもや孫であったかもしれません。

私の住む八幡浜市は、伊方原発から10kmです。原発事故は、命ばかりか私たちの生活の全てを奪います。再稼働は、子ども達の未来を奪う大きな危険をもたらします。原発はたとえ事故がなくても、放射能をまき散らします。

国策として推し進められている原発行政を止めるのは、私たち一人一人の声以外にはありません。

「原発いらない。放射能を防ぎたい」の声を出し続けることによって、原発を止めましょう。

2016年3月11日

八幡浜・原発から子どもを守る女の会

齊間淳子